

一般社団法人 苫小牧タウンマネジメント 設立趣意書

明治四十三年九月に王子製紙苫小牧工場が操業されたことを契機に苫小牧村は大きく経済発展を遂げ、昭和三十八年の苫小牧港開港や苫小牧東部地域の開発により、さらなる人口増大を果たし北日本有数の工業都市へと変貌を遂げました。しかし、苫小牧市の人口は平成二十五年度を頂点に徐々に減少をし、現在の人口が同程度の平成六年と比較し年齢構成比も様変わりしました。

それにより苫小牧市の行政運営も様々な問題が山積している中、未来の展望が見えぬまま時間だけが経過していると感じています。

否が応でも、より良い苫小牧市を未来へ残す為には苫小牧市市民が主体的に未来を思い描き責任を持った行動をしなければいけません。苫小牧市の様々な問題を解決し、希望に溢れた未来を創造する為に苫小牧市に係る民間の力を結集する時が来たのです。

そこで、苫小牧市を愛し、苫小牧市の未来を想い、苫小牧市の為に粉骨砕身する市民の参集を切に願います。

令和5年1月20日

一般社団法人 苫小牧タウンマネジメント 設立準備委員会 委員長 藤 淳一